



たじみ監督署 安全衛生だより

平成23年の労働災害発生状況

平成23年の休業4日以上労働災害による死傷者数は、1月末現在の速報値で263人となっており、昨年同期に比べ17人の減少をみていますが、残念ながら死亡災害により2人の尊い命が失われています。

事故の型別に見ますと、転倒災害が68件で全体に占める割合が26%となっており、特に、第3次産業において多発しています。また、全ての業種において60歳以上の労働者の死傷者の割合が増加している側面もあります。

このような状況で「転倒」災害防止のため、4S活動の推進により自主的安全活動を促進するとともに、高年齢労働者に配慮が益々必要となっています。

平成24年は第11次労働災害防止計画の最終年であり、改めて「安全最優先」の考え方を基本に、経営トップの強いリーダーシップのもと、労働災害防止活動の活性化を図りましょう。

(参考) 全国の労働災害発生件数

	平成23年	平成22年	増減数	増減率
死亡者数(注1)	938人	1117人	179人減少	16.0%減少
死傷者数(注2)	75,612人	74,587人	1,025人増加	1.4%増加

注1：死亡災害報告による11月末の速報値

注2：労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)による11月末の速報値

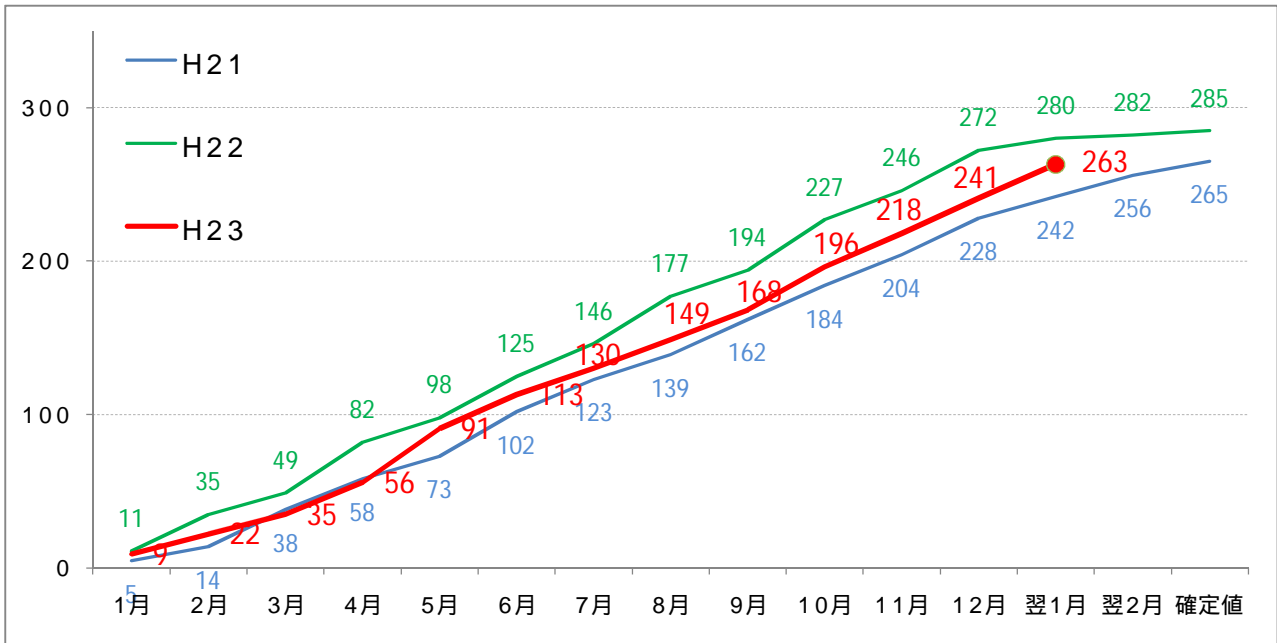
注3：震災関連除く。

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全産業	263 (2)	280 (6)	-17	-6.1%	100%	242 (3)
製造業	102 (1)	93 (2)	9	9.7%	38.8%	82 (1)
うちパルプ・紙等	3	7 (1)	-4	-57.1%	1.1%	8
うち窯業土石	32 (1)	36	-4	-11.1%	12.2%	37 (1)
うち機械金属	35	23 (1)	12	52.2%	13.3%	19
建設業	21 (1)	42 (3)	-21	-50.0%	8.0%	25
運輸業	32	21	11	52.4%	12.2%	26 (1)
卸・小売業	20	27	-7	-25.9%	7.6%	37
通信業	11	16 (1)	-5	-31.3%	4.2%	4
ゴルフ場	22	25	-3	-12.0%	8.4%	26 (1)
上記以外	55	56	-1	-1.8%	20.9%	42

本統計は、平成24年1末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上死傷災害を集計したもので、カッコ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。

災害発生状況の月別推移

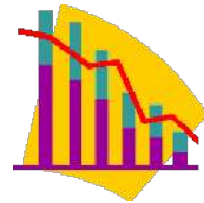


「見える」安全活動コンクールを知っていますか？

あんぜんプロジェクトでは、企業における安全活動の活性化を図るため、「見える」安全活動コンクールが開催され、多くの事業場の創意工夫された労働災害防止活動の事例が応募があり、現在、その応募作品に対する投票を、広く一般から受付けているところです。

(投票期間：1月23日から2月24日)

投票の結果を踏まえ、3月下旬に優良事例が発表される予定となっています。



この機会に安全活動の参考とするために、
応募された事例等を見てください。

安全プロジェクト

検索

注) 厚生労働省ホームページの「職場のあんぜんサイト」から、その他各種情報が、閲覧できます。

安全プロジェクトとは、

労働災害のない日本を目指して働く方の安全に一生懸命に取り組み「働く人」「企業」「家族」が元気になる職場を創るプロジェクトです。

「見える」安全活動とは、

職場における安全に関する事項には、以下の(1)から(5)のように通常、視覚的に捉えられないものがありますが、それらを可視化(見える化)すること、また、それを活用することによって進められている効果的な安全活動をいいます。

これらによって、見える化した対象に対する共通的な理解を深めるとともに、問題の把握なども可能となります。また、それを活用した安全活動には、従業員等の参加のインセンティブを高める効果も期待されます。

- (1) 機械設備、作業等による危険
- (2) 危険によって発生するおそれのある労働災害
- (3) 労働災害に対する対策及びその効果
- (4) 労働災害防止対策の進捗状況
- (5) 労働災害統計(労働災害の発生状況等)